

第三者評価結果 (児童養護施設)

種別	児童養護施設
----	--------

①第三者評価機関名

(株) 第三者評価	大阪市東淀川区東中島1-17-5	http://daisansha.lolipop.jp/
訪問調査員	吉山 浩 (S24084)	加藤 文雄 (S25062) 2名

②施設名等

名称:	社会福祉法人 共生会 愛信学園
施設長氏名:	小原正守園長
定員:	60名
所在地(都道府県):	兵庫県
所在地(市町村以下):	神戸市兵庫区馬場町7番14号
TEL:	(078) 341-8934
URL:	http://homepage2.nifty.com/aishin-gakuen/index.htm

③実施調査日

開始日	2014/2/5	1次訪問調査日	10/17 (金)	2次訪問調査日	10/24 (金)
評価結果確定日	2014/11/14 全社協HP掲載日 2014/12/3 (水)				

④総評

「足し算で取組もう」と熱心に子どもたちを支援する園長、副園長、職員、ボランティアさん、頼もしい味方が多く居ます。

(1) 子どもの能力・素質を見出し伸ばす為、多様な経験を積む場、機会を提供することを基本方針とし、「最善の利益」にかなった進路が自分で決定できるように支援を行っています。

①各種スポーツ大会、地域スポーツ少年クラブへの継続的参加、子ども主体の積極的な取組みにより、各スポーツ大会において好成績につながっているように感じます。

②文化活動では、学校を通じた各コンクール(習字、絵画、読書感想文等)での受賞や、地域での行燈、灯籠作りの制作、子ども会活動への積極的な取組み等による表彰を受けています。

早朝・深夜、休日も骨身を惜しまず、最高にきついけど、最高にやりがいのある仕事と感じてサポートする職員の姿が現場にありました。

(2) 地域支援・交流に力を入れて取り組んでいます。

施設の立地を生かした子育て支援事業(ジョイトイ、デイベス)の積極的受入れ、商店街の空店舗を活用した本園近く所在地域子育て支援ルーム「かえっこや」のプレイルーム開放と心理士による子育て相談の実施。定期的実施している子育て支援行事「かえっこバザール」、施設行事(夏祭り、クリスマス会、もちつき)に地域の方を招くとともに、地域各団体の行事に積極的に参画、祭りへのブース出店やステージ出演等の活動を通じ、日々交流を深める取組みがされていました。

(3) 子どもの権利擁護とボランティアの受入れ

子どもの意見を尊重し要望をくみ上げる取組みとして、意見箱の設置や毎月の学童会の実施により子どもの意向や意見を聴取し、日々の処遇に反映させた子どもを主体とした施設運営が行われています。また、苦情解決体制における第三者委員が地域のボランティアの習字の先生で、子どもの良き相談相手となっていました。多くのボランティアさんが定期的に何度も施設を訪問、子どもたちの成長を共に見守り支えている大人の方との交流も多く見受けられました。

今回の初めての第三者評価への取組みで、改善の手法を身に付けられたので、子どものQOL(生活の質)は向上すると確信しています。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価受審にあたり、事前の自己評価項目の取組みについて職員間の共有化のもと、日々の養育の見直しを図る機会となりました。2日間の訪問調査を通して改善への具体的な助言をいただき、多くの気づきを得ることができました。

法人の理念に基づいた施設運営を進めていく中で、今回の評価結果を真摯に受け止め、さらなる養育の質の向上と地域貢献に努めてまいります。

第三者評価結果（児童養護施設）

1 養育・支援

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	子どもの存在そのものを認め、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止め、子どもを理解している。	a
②	基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a
③	子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a
④	発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
⑤	秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>【 特に評価が高い点 】</p> <p>◎ 園長・副園長の長年にわたる経験ノウハウを職員に伝え、子どもの表出する感情や言動を受止め、その背景にある本当の思いをくみ取り理解しようとしている点</p>		

(2) 食生活		第三者 評価結果
①	食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	a
②	子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	a
③	子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a
(3) 衣生活		
①	衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	a
②	子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
(4) 住生活		
①	居室等施設全体がきれいに整美されている。	a

②	子ども一人一人の居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	a
---	-----------------------------------------	---

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

◎ 4月に行った小学校4年生以上の子供アンケート結果（男子14人、女子14人 計28人）より、「食事おいしい」と評判でした。

◎ “温かい”おつゆ”は、いつ食べても温かく、“夏場のデザート”は、いつ食べても冷たく食べれるよう配慮されています。

《 知恵を求めた点 》

☆ 食堂の掲示板について :

① うっかりすると掲示物や情報量が必要以上に多くなってしまいます。「子供にとって最も重要な情報は何なのか？」を考え、必要最小限となるよう絞り込みを行うこと 又は 子供に「どんな情報が知りたいのか」を聞いては如何でしょうか。

② 3M離れた位置から見ても読み取れる大きさの文字であること。

(5) 健康と安全	第三者 評価結果
① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	a
② 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	a
(6) 性に関する教育	
① 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	b

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

◎ 施設が神戸市の交通量の多い場所に位置する為、交通事故の未然防止で、H小学校周辺の安全マップを活用し注意喚起を行ったり、日頃から危険な場所・行為・物から身を交通ルール等を伝えている点

< 改善が求められる2点 >

▼ 基準の項目 1-(6)-①-4 年齢に応じた性教育のカリキュラムを用意し、正しい性知識を得る機会を設けている

▼ 基準の項目 1-(6)-①-5 必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施

尚、近々に外部講師を施設に招き、職員が「子供に正しく伝えられるよう」に学び直し、『良いカリキュラム』を作成しようと計画していました。

(7) 自己領域の確保	第三者 評価結果
① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	a

②	成長の記録（アルバム）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	a
---	-------------------------------------------	---

(8) 主体性、自律性を尊重した日常生活

①	日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している	a
②	主体的に余暇を過ごすことができるよう支援している。	a
③	子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

◎ 退所前に一人暮らしを始めても、契約の事、お金の事、生活の事で困らないように、冊子「巣立ちのための60のヒント～施設から社会へ羽ばたくあなたへ～」を活用し、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援していました。 また、実際に小規模グループホーム「ももちかハウス」にて起床の事、自炊の事、買い物の事の実地訓練を行っていました。

(9) 学習・進学支援、進路支援等

第三者
評価結果

①	学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
②	「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
③	職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

◎ 早い時期から、子供の能力・素質を見出し伸ばす為、多様な経験を積む場、機会を提供し、「子供の最善の利益」にかなった進路が自分で決定できるように支援している。

① 各種スポーツ大会、地域スポーツ少年クラブへの継続的参加（今年 市児童福祉施設バレーボール大会 準優勝、県児童福祉施設卓球大会 優勝、フットサル大会 優勝、中央区総体女子バレーボール 中学生Jさん 優秀選手賞、チーム優勝） スポーツを通じて、基本の重要性、反復練習の必要性、ねばり強さ、忍耐力 及び 体力強化

② ひらの清盛祭り-行灯製作で高校生Aさんが優秀賞、灯籠作りで高校生Bさん最優秀賞、児童文化奨励絵画展で5名受賞、市子ども会絵画コンクールで3名受賞、習字、読書感想文で表彰多数 各人の可能性の追求

◎ 早朝・深夜、休日も、骨身を惜しまず、サポートする職員の姿が現場にありました。最高にきつけれど、最高にやりがいのある仕事と感じました。

◎ 4月に行った小学校4年生以上の子供アンケート結果（対象28人）より、設問8 「施設の大人の人たちは、あなたが成長していくために取り組む目標、あなたの将来学校や仕事について話を聞いてくれますか？」

→子供の回答 はい25人（90%） どちらともいえない3人（10%） 職員の努力が確実に伝わっています。

(10) 行動上の問題及び問題状況への対応

第三者
評価結果

①	子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に、行動上の問題及び問題状況に適切に対応している。	a
②	施設内で子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
③	虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	a

(11) 心理的ケア

①	心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a
---	-------------------------------	---

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

- ◎ 問題の未然防止に、施設の構造上の死角となりやすい個所の点検、職員配置や勤務形態の工夫を行っています。
- ◎ 心理士を配置し、心理療法（プレイセラピー）を行っていて、2か月に1度、M女子大のスーパーバイザーの研修を受けています。

(12) 養育の継続性とアフターケア

第三者
評価結果

①	措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	a
②	家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a
③	できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a
④	子どもが安定した社会生活を送ることができるよう退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

- ◎ 設立：昭和20年、開園し約70年 多くの卒園児が居られ、定期的に施設に来てくれています。 また、元気でやっていると連絡も来ています。

2 家族への支援

(1) 家族とのつながり

第三者
評価結果

①	児童相談所や家族の住む市町村と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	a
---	--------------------------------------------------------------	---

②	子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的にやっている。	b
---	------------------------------------------	---

(2) 家族に対する支援

①	親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
---	----------------------------------	---

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

◎ 今回の初めての評価受審にあたり、FSW（家族支援専門員であり基幹的職員）は人一倍、基準と向き合い研鑽を重ね、日々の仕事を総点検してくれました。ここで得た成果は、子供・及び 家族にとってプラスになると信じています。プロフェッショナルな技、日々のチョットした心掛けを今後も期待しています。

< 改善が求められる1点 >

▼ 基準の項目 2-(1)-②-3 親子が必要な期間一緒に過ごせるような宿泊設備は施設内にありません

3 自立支援計画、記録

(1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定		第三者 評価結果
①	子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	a
②	アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	a
③	自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	a
(2) 子どもの養育・支援に関する適切な記録		
①	子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	a
②	子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	a
③	子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

- 【 特に評価が高い点 】
- ◎ 自立支援計画の見直し：支援項目(生活・学習・対人・家庭)毎に年2回、詳細に見直しを行っている点
 - ◎ 『個人情報保護規程』を詳細に作成し、個人が特定できる情報の持ち出し禁止を明文化している点、及び職員会議でのその周知徹底ぶり

《 知恵を求めた点 》

- △ 職員会議にシフトの関係で欠席となった職員への内容の周知方法：
- ① 職員会議に全員出席は不可能ゆえ、後日、会議の内容を周知した場合、伝えた方と伝えられた方の氏名、日時等の簡単な記録方法
 - ② 職員が30人近くになりますと周知徹底することは容易ではありません。3徹(徹頭・徹尾・徹底)するにはどんな方法が貴施設には良いのか試行錯誤の程、お願いします。

4 権利擁護

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者 評価結果
① 子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	a
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	a
③ 子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	a
④ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	a
⑤ 子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	a
(2) 子どもの意向への配慮	
① 子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	a
② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組む。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
【 特に評価が高い点 】	
◎ 月1回、子どもたちが決めた生活目標について振り返り、次月の目標を新たに決めて、子ども自身に自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討させています。	

(3) 入所時の説明等	第三者 評価結果
-------------	-------------

①	子どもや保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	a
②	入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
③	子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	a

(4) 権利についての説明

①	子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a
---	---------------------------------------	---

(5) 子どもが意見や苦情を述べやすい環境

①	子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	a
②	苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	b
③	子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	a

(6) 被措置児童等虐待対応

①	いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a
②	子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
③	被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a

(7) 他者の尊重

①	様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかみや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	a
---	-------------------------------------------------------------	---

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

◎ 施設を紹介する『愛信学園のしおり』は、沿革・定員・現員・職員構成・児童の状況・周囲の環境・処遇・行事・生活時間表等を網羅した詳細でかつコンパクトな10枚にまとめていて分かりやすい内容となっています。

◎ 苦情解決の体制、特に第三者委員が、ボランティアの習字の先生や近隣の方になっていただいております、子供の顔見知りの方で、言いやすい方である点

◎ 平成24年4月～(直近3カ年分)の全ての苦情受付書、苦情解決報告書を確認しました。内容が詳細に記載されており、直ぐに対応しようという姿勢が感じられました。その内容の多くは、子供らしい「自転車を買ってえ～」、「オモチャ買って!!」、「携帯電話が欲しい」というおねだりのお願いでした。

< 改善がもとめられる1点 >

▼ 基準の項目 4-(5)-2-⑤ 苦情内容及び解決結果等の公表は敢えて行っていません。(子どもが施設を選ぶことが出来ない、生活の場である点を考慮するとこの項目の意義がよく分からないという事でした)

5 事故防止と安全対策

		第三者 評価結果
①	事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a
②	災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	a
③	子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

◎ 毎月の消防訓練において被災想定を毎回設定して実施されている。(先の大震災での被災経験が活かされている)

◎ 通用門内入口に「うがい」薬を常備した、手洗い場所を設け外出から帰ったら「うがい」手洗いの励行が習慣づけられている。

《 知恵を求めた点 》

△ 通用門という1次バリアはありますが、プール水深80cmの危険源には2次バリアとなるような簡単な仕掛けもご検討下さい。

① 通用門内に近接してプール(5 x 10m 水深80cm程度 防犯カメラ2基あり)への入口が設けられています。外部からも容易に水を張ったプールに近付くことができますので、特に幼児の侵入防止のための対策が必要と思われます。

6 関係機関連携・地域支援

		第三者 評価結果
(1)	関係機関等の連携	
①	施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	a
②	児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	a
③	幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校など子どもが通う学校と連携を密にしている。	a
(2)	地域との交流	
①	子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	a
②	施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	a
③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	a
(3)	地域支援	

①	地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	a
②	地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

◎ 子育てリフレッシュ事業（ショートステイ・デイサービス）の取り組み、子育て支援ルーム「かえっこや」「かえっこバザール等を実施して地域の子育て支援活動に力を入れて取り組んでいる。

< 子育てリフレッシュステイ 利用状況 直近3カ年の実績 >

ショートステイ	利用延日数	平成25年度	759日	平成24年度	832日	平成23年度	459日
デイサービス	利用延日数	平成25年度	239日	平成24年度	270日	平成23年度	206日

7 職員の資質向上

		第三者 評価結果
①	組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
②	職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	b
④	スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

◎ 職員の経験年数、スキル等による評価のもとで職員の研修計画を策定し研修が実施されている。

< 改善が求められる3点 >

▼ 基準の項目 7-(3)-③ 報告レポートや発表、当該職員の研修後の業務等によって、研修成果に関する評価・分析を行っている。

▼ 基準の項目 7-(3)-④ 評価・分析された結果を次の研修計画に反映している。

▼ 基準の項目 7-(3)-⑤ 評価・分析された結果に基づいて、研修内容やカリキュラムの見直しを行っている。

8 施設の運営

(1) 運営理念、基本方針の確立と周知	第三者 評価結果
---------------------	-------------

①	法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	a
②	法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	a
③	運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a
④	運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a

(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定

①	施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	a
②	各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	a
③	事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	a
④	事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a
⑤	事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

- ◎ 中長期計画が具体的に分かりやすく策定されており、これを反映した施設の運営が行われている。
- ◎ 今年度の事業計画は「平成26年度 愛信学園しおり」の中で記載され活動が具体的に示されている。
- ◎ 園長は、永年に亘る社会福祉への功績に対し、平成25年春の褒章で藍綬褒章を授与されています。
(内閣府HP 平成25年春の褒章受章者名簿 兵庫県より)
http://www8.cao.go.jp/shokun/hatsurei/25haru/meibo_hosho/hosho-28hyogo.pdf

(3) 施設長の責任とリーダーシップ

第三者
評価結果

①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	a
②	施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	a
③	施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a
④	施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	a

(4) 経営状況の把握

①	施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	a
---	---------------------------------	---

②	運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	a
③	外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	a

（特に評価が高い点、改善が求められる点）

【 特に評価が高い点 】

◎ 施設長が率先して理念、事業計画達成に取り組んでいることが、『広報誌 愛通信』、『しおり』、『職員会議事録』や施設内設備、備品の3S（整理・整頓・清掃）の状況から確認できました。

(5) 人事管理の体制整備		第三者 評価結果
①	施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	a
②	客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	a
③	職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	a
④	職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	b

(6) 実習生の受入れ

①	実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	a
---	---------------------------------------------------------------	---

（特に評価が高い点、改善が求められる点）

【 特に評価が高い点 】

◎ 実習生受け入れに関して具体的な「生活時間割表」を示し実態に沿った経験を実感できるよう工夫されています。

< 改善が求められる2点 >

▼ 基準の項目 8-(5)-4-② 職員の悩み相談窓口を組織内に設置し、又は、関係機関と連携して、解決に向けた体制が整備されている。

▼ 基準の項目 8-(5)-4-④ 臨床心理士や精神科医などに職員が相談できる窓口を施設内外に確保するなど、職員のメンタルヘルスに留意している。

(7) 標準的な実施方法の確立		第三者 評価結果
①	養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	a
②	標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	a

(8) 評価と改善の取組

①	施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	a
②	評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【 特に評価が高い点 】

- ◎ 平成24年度より毎年、「自己評価」を実施しており、回数を重ねる毎に、自己評価の内容が成長されています。
- ◎ 第三者評価の受審にあたって、平成26年1月より準備を始め、主任児童指導員をまとめ役として責任者に任命し、各章毎に責任者を割り振り役割分担を明確にして取り組んでいました。
- ◎ 特に副園長は、1次訪問調査(10月17日)、2次訪問調査(10月24日)、率先垂範しご対応いただき熱心にメモを取って、(子どもの為に良きことは取り入れようと)改善に対して並々ならぬ意欲を示して下さいました。